



## 事故情報

タイトル	酸素ガス圧力調整器発火事故				
発生年月日	平成18年12月	発生場所	糟屋郡	ガス種	酸素
概要	<p>医療用の酸素ガス容器の分析を終了した後、工業用酸素ガス容器の分析をするため、同じ圧力調整器を容器に取り付けた。容器の元バルブを開けたところ、直ちに調整器本体全面部より火炎が噴出し、作業者が火傷を負った。事故品の調査結果から発火発生箇所は入口フィルター部分と考えられ、発火は1.4MPaの酸素ガス中でバルブ部分から発生した微粒子（金属）がフィルター（ステンレス製）への激しい衝突のエネルギーと圧縮熱によって微粒子が燃焼、さらにフィルターに延焼し、続いてその他の構成部品を燃焼させ、その火炎が噴出したものと推定される。</p>				
対策・改善事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 圧力調整器の材質をステンレス製から真鍮製へ変更。</li> <li>2. 容器バルブ開放操作の安全対策 (操作基準の徹底、断熱圧縮防止対策)</li> <li>3. 圧力調整器の管理強化（管理基準による点検）</li> </ol>				
写	真				
					
事故品			事故品（全景）		